

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 くらかみ学園児童発達支援センター（児発）

公表日 令和 8年 3月 13日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	20	1	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋分けをして支援している。 ・個別が必要な時には部屋を区切り支援を行う事が出来ている。 ・曜日によって利用人数が違う為環境設定を行っている。 ・多く感じる日もあるが部屋を上手く使うことで成り立っている。 ・遊びと活動とスペースを区切っているがその日の活動で全スペースを使うなど工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の特性に合わせたクラス分けがされたクラスで支援をしているが、もう少し各クラスが広いといいと思う。 ●利用の人数によっては、部屋が狭く感じるクラスもあるが、活動内容を工夫してスペースを確保する。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員配置を十分確保している。 ・その日のご利用者様の人数に応じて配置を組んでいる。 ・その日の状況、利用児の様子等で職員配置を変えている。 ・職員同士、またクラス別の連携が取れている。 ・適切である。 ・その日の利用者数と職員数をみて調整している。 ・自由時間もグラウンドや広い部屋を使い把握がしやすい様な過ごし方を提供している。 ・長期休みの職員の配置数は少ないですが、臨機応変に対応出来ると思われる。 	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	20	1	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラスによって、部屋の環境設定、構造化を工夫している。 ・準備をする場所、遊ぶ場所、活動の場所など分けていることで理解しやすいようである。 ・活動によってパーティションで区切ってわかりやすくしている。 ・写真や言葉またスケジュールで行動ができる様にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外側の窓が高すぎる為、夏は暑すぎるし冬は冷気をもちに受けるので、窓の高さはもう少し小さくても良いと感じる。 ●構造上、窓の高さを変えることはできないが、次年度は何か所か二重窓を設置する予定。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	19	2	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の清掃に毎月の美化活動を行っている。 ・刺激物を減らし、利用児が過ごしやすい環境作りに努めている。 ・心がけている。 ・整理整頓を心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・配管の問題かはわかりませんが、トイレの匂いが気になる時がある。トイレには窓がないので、換気扇だけでは臭いが逃げるまでに時間がかかる。 ●効率よく換気出来るような改善策を検討する。 ・遊戯室の天井の高さがもう少し高さがほしい。 ●建物の構造上改修は困難な為、高さが必要な活動は中庭やグラウンドを活用するなど工夫する。 ・机の上に材料など置き過ぎて、子どもの刺激になりやすいので自分自身も気をつけて落ちついた環境を整えていきたいと思う。 ●刺激になる物は片づけるなど環境設定に心掛ける。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個別ブースが使用できる環境にある。 ・お部屋に区切りを設けて個別対応している。 ・状況によって、クールダウン等で使用している。 ・パーティションなどを使い個別の空間を作れる様準備されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パーティションを使って区切ってますが、パーティションが破損などで足りなくなっている。 ●パーティションなどを予算化して対応できるように検討を行う。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員同士の情報交換を行っている。 ・業務終了前や休憩時等を利用し、引き継ぎや振り返り等を行なっている。 	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様からの評価、情報を元に業務を行っている。 ・引き継ぎ等の時間に話を行い、周知徹底を行っている。 	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> ・いつでも話ができる環境にある。クラス会議や、職員会議の機会を設けている。 ・毎日の引き継ぎ、クラス会議を行っている。 ・業務終了前や時間を見つけて情報共有を行っている。 ・改善にすぐ繋がるものばかりではありませんが、意見を求めてもらえる環境で安心して働いている。 ・職員の個人的意見や改善する事を言える環境の職場である。 ・振り返りの時間を設けてある。支援後に気になる点は話している。 ・気になる所は相談しながら業務改善されていると思う。 	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の引き継ぎの時や会議等にて引き継ぎが行われている。 	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な研修を受ける時間を設けている。 ・外部や法人内の研修は実施している。 ・職員の希望などを踏まえweb研修が多いが誰もが研修を受けていると思う。 ・研修の機会はつくってある。 	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> ・適切である。 	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	19	2	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援計画の情報等は同じクラスの職員より情報提供されている。 ・半年ごとにモニタリングを行い、会議をし、保護者との面談を行っている。 ・作成に携っていませんが、報告など聞いたりして情報を共有している。 	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員同士の情報交換を行っていますので共通理解のもと支援に当たっている。 ・クラスの担当職員も同席し、日常の様子や変化や保護者様に関する必要な情報等もお伝えしている。 ・クラスでそれぞれ利用者の受け持ち担当をして記録などを行っている。 	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> ・特にクラス内では情報共有を意識し、支援にあたるよう気がけている。 ・朝の引き継ぎや全体で共有できる引き継ぎノートやクラス単位等での引き継ぎを行っている。 ・担当者からの報告やセンター外の自宅や家族の思い、また保育園での様子など変化や様子を伝えてもらっている。 ・行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、支援する個人の担当者は変わることがあるので、もう少し連動して見る人が見やすいように又前担当者の記録など参考にして担当者に負担が大きくならないとした方が良いと感じる。 ●以前よりパソコン上では、個人毎に児童発達支援計画・評価表が作成され、連動して確認できていた。紙面でも連動して確認できるよう綴り方の変更を行った。 ・共有はしているが、各職員担当をもっていたり、全部が全部を覚えるのは難しく、統一した支援ができないときがある。 ●ICTを活用して業務効率化を図り、職員の情報共有の時間を増やす取り組みを行う。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> ・支援をするに当たって支障がないようにクラスで共有出来ている。 	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様から事前に調査表に必要な事項を記入していただき、上記の項目に反映している。 ・クラス会議を定期的に行い保育所や家庭での状況の変化があった場合には、その都度担当者から報告を受けて共有することが出来ている。 	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスで活動内容を事前に決め割り振っている。 ・クラスの職員の情報交換を行い会議などでの話し合いを行っている。 ・苦手な事、得意な事、就学等を見据えて、自己肯定感を上げられるような活動を日々行っている。 ・当日変更がある時は活動する前に報告を受けており活動に支障をきたすことはない。 ・わからないところは相談しながら立てるようにしている。 ・毎月、内容を報告して頂いている。 	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスで話し合いをし、その月の行事により活動を変更したりしている。 ・当日に変更等があっても利用者に影響を与えるような事はなく協力して活動が出来ている。 	
19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	20	1	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの職員での話し合いで支援させてもらっている。 ・就学の集団を見据えて、支援を行っている。 ・活動がスムーズに出来るように協力して準備等をしている。 ・活動は組み合わせでされている。 		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	19	2	<ul style="list-style-type: none"> ・情報交換を行っている。 ・その日のクラスのチーフや補助の支援に対応する職員、個別対応職員等の話し合いを行なっている。 ・当日チーフをしている職員からの活動前に何をするか必ず話してもらっている。 ・今日の活動や支援点などを話し合っている。 ・その日の活動の説明や役割をお伝えするようにしている。 ・全スタッフ集まっては難しいが個別で連絡をしあっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回打ち合わせするのは難しい。 ・送迎後すぐに支援に入る事があるため、事前の打合せをするのには難しさがある。 ●送迎などもあり、打合せの時間が十分取れないこともあるが、職員が連携して支援に当たりチームワークでカバーする。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	18	3	<ul style="list-style-type: none"> ・少しの気づきも情報交換を行って共有できている。 ・当日できないこともあります、一気になった事よかったことなどについては、翌日には共有するようしている。 ・随時引き継ぎを行っている。 ・各クラスで報告、伝達し、共有している。 ・自分が感じた不安感や改善点を振り返るようにしている。 ・合間で話し今日の反省点などを挙げ次回に繋げている。 ・気になった所などその日に話をしたりと連携が取れていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回打ち合わせをするのは難しい。 ・すぐに送迎に出ることが多く、一部の人だけでの話し合いで完結していることが多かったと思う。聞いてなかった、知らなかったが言いにくいこともあるので、お互いに伝え漏れがないように意識をしていかなければと反省点もある。 ●クラスで引継ぎノートなどを活用し、情報が共有できるよう改善されている。一人ひとりが相手の発信を待つのではなく、自身で情報を取りに行く姿勢を育てる。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> ・その日の利用の様子など記録で残して、月末ケースに保管している。 ・支援の仕方や工夫する点が多い利用者には、支援をする人によって違いがないように支援内容を文書や写真などを利用して申し送りしている。 	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> ・半年ごとにモニタリングを行っている。 	
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携を行っている。 	
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等訪問を実施している。 	
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や訪問により連携を行っている。 ・可能な限り共有できるように、それぞれ訪問してより良い支援に繋がるように努力をしていると思う。 ・送迎時にお話したり電話連絡にて情報共有を行っている。 	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	21	0	・必要に応じて情報提供をしている。 ・園や学校側からセンターへ見学に来ていただいたり、こちらが訪問し共有を行っている。 ・送迎時などに情報共有をしている。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	20	1	・子ども支援部会に参加している。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	21	0	・療育支援センターから来ていただき、支援を見て助言等をいただいている。	
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	18	3	・子ども支援部会に参加している。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	8	13		
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	21	0	・自宅での様子等を電話にて共有している。 ・電話などで報告をしている。 ・電話やセンターに送迎時に家での様子センターでの様子を報告している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	21	0		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	21	0	・分かりやすいように丁寧に話すよう心がけている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	19	2	・職員同士の情報提供をいただいている。 ・社会に出た時に困らないように今できる支援を行っている。 ・担当から話を聞いたりしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	21	0	・職員からの情報提供をいただいている。 ・面談にて実施している。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	21	0	・電話や面談を実施している。 ・～しなければと思われる保護者様が多いと感じる。時には、お父さんお母さんも肩の力を抜いて関わりを持つことを伝えられた1年になったと思う。 ・面談や電話等で気になるところや成長点をお話している。 ・参観での懇談会や面談をしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	15	6	・参観時に懇談会の時間を設けている。 ・参観時に職員を交えて保護者さん同士の悩み相談等も行っている。 ・保護者会等はないですが、参観の後に懇談会を設けている。 ・父母の会はないが参観後の懇談会で意見を交換できる機会がある。	・直接的なきょうだい児への支援までは行われていない。 ●人力的な余裕があれば実施を検討する。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	21	0	・訪問や面談等を行い、孤立させないように対応している。 ・担当者が対応されている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	21	0	・ホームページやお便りで実施している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	21	0	・毎日その日のご利用様の氏名の配置表が有るので、その日の終わりにはシュレッターを活用している。 ・十分に注意している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	21	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。	11	10	・児童発達支援センターに地域住民を招待するのは難しいと思うが、園外歩行する際に地域の方への挨拶など大切にしている。 ・地域のボランティアの方が、毎年クリスマスが近くなるとセンターへ出向いてこども達と関わりを持ってくれている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	21	0	・定期的に防犯や事故などの訓練を行っている。 ・年に数回、色々な事例に対しての訓練があり参加している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	21	0	・定期的に訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	21	0	・職員同士での情報提供を受け確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	20	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	21	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	21	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	21	0	・共用出来ている。 ・引き継ぎの時間に共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	21	0	・虐待研修を設けている。 ・研修と日々の引き継ぎ等で振り返り等を行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	20	1		